

こんにちは 新社会党



委員長 岡崎ひろみ

東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階 TEL 03-6380-9960 FAX 03-6380-9963

週刊 **新社会**

2025年1月・号外

発行所：新社会党 発行者：岡崎ひろみ
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階
TEL 03-6380-9960 FAX 03-6380-9963
振替 00140-0-149727 1か月600円 1年6000円 100円×41回
http://www.sinsyakai.or.jp E-mail:honbu@sinsyakai.or.jp

夏の参議院選挙 護憲勢力の政治決戦



委員長 岡崎ひろみ

新しい年になりました。皆さまにとつて、よりよい年になることを祈念します。

新社会党委員長 岡崎宏美の新年のメッセージをお届けします。

希望の火を灯した被団協のノーベル平和賞受賞

戦争、飢饉、異常気象、自然災害の頻発、格差の拡大で深まる生活苦など、国の内外問わず不安に覆われている中、昨年末、被爆者団体協議会（被団協）のノーベル平和賞受賞は、一つの希望の火を灯しました。多くの生命を奪い、後遺症の苦しみをもたらした原水爆被害の実相を、国の冷遇や差別にも屈せず語り続け、「ノーモアヒロシマ、ノーモアナガサキ、ノーモアウォー」の願いを世界に広げ、活動を若い人たちに継承していることも受賞の理由です。さらに、被団協の活動は、核兵器の製造・

使用の法的禁止を求める運動となり、2017年核兵器禁止条約として国連が採択、2021年に発効しました。しかし、この条約を日本政府は「現実的でない」と、会議へのオブザーバー参加すら拒み続けています。

世界各地で破壊と殺戮 武器で平和はつくれない

一方、ロシアによるウクライナへの侵略戦争は間もなく3年目を迎え、出口も見えない中で周辺国の緊張は高まっています。また、23年10月に始まったイスラエルによるガザ侵攻はシエノサイドの様相で、女性や子どもを含む4万5千人以上の犠牲者が出ています。戦火は拡大し、中東情勢は不安定さを増しているように、一旦、武力衝突が起きれば終わりの見えない破壊と殺戮の連続になる恐怖を教えています。

日本の軍事力強化 国会は賛賛化進む

日本の軍事力をもっと高めようとする考え方がまかり通り、岸田政権時代に閣議決定した「安保三文書」による軍事予算の拡大は、

沖縄・南西諸島の軍事基地化、日本各地の港湾、空港などを軍事使用可能にする等、なし崩しに戦争する国作りが進んでいます。石破政権の安全保障担当首相補佐官は、「GDP2%で固定して考える問題ではない」と発言する等、一層の軍事予算増額を狙っています。

さらに軍備の強化を掲げる複数
の新たな政党が国会に議席を持ち、
平和憲法を敵視する声が大きくなっ
ています。軍事費43兆円を目指す
国家予算は増税を強いる一方で、
社会保障予算の削減や、労働者の
正規、非正規など一層分断してき
ます。かつて軍事国家を支えた社
会は、従順な国民作り、シエンダー
差別を土台にした家制度によって、
公的な社会保障制度を削減し戦費
を調達しました。

夏の参議院選挙は 護憲勢力の政治決戦に

一人ひとりの人間らしい暮らし
が脅かされる社会は平和とは言え
ません。よりよく生きていける社
会をめざして新社会党は、夏の参
議院選挙を「かい正康」を先頭に
たたかいます。皆様のご支援をお
願い致します。

かい正康が追求し続けた 米軍横田基地のPFAS調査が実現

新社会党市民運動委員長のかい正康さんが追求している水道水の安全性を、根本から脅かすPFAS（有機フッ素化合物）の汚染源の一つとされる米軍横田基地の立ち入り検査を12月20日、国と東京都が行いました。

かい正康さんはじめ多くの市民が声を上げてきた運動が国と都の重い腰を上げさせた結果です。

健康被害でPFASが社会問題化

発がん性があり、自然界では分解されにくく、河川や土壌の汚染を通し、私たちの体内に入ってくるのがPFASです。

その汚染源を突き止めるのが対策の第一歩ですが、都内最大の汚染源とされている米軍横田基地の立ち入り検査は行われてきませんでした。米軍には日本の法令を免れる日米地位協定があると、政府の腰が引けているからです。

かい正康さんは、この日米地位協

定とそれを具体化する日米合同委員会の不当さを訴え、同委員会が開かれるニュー山王ホテル前での抗議活動と、横田基地には直接PFAS漏出調査の申し入れを行いました。今回の調査は最初の一步です。



厳しい安全基準と汚染対策を

現在の暫定目標値ではなくきびしい安全基準を政府に作らせ、米国の負担（原因者負担原則）で汚染対策をさせなくてはなりません。

衆院選で野党が多数となり、政治の流れが変わり始めました。

今年の参院選を変化の決定打とするため、新社会党はかい正康さんを先頭にがんばります。



かい正康



夏の参議院選で

生きづらいつい社会を変える

週刊新社会を
読みませんか

お問い合わせ先